

Slack Field理論を活用した 藤枝市幸福度設計プロジェクト

静岡産業大学 経営学部
ウェルビーイング経営政策研究室

指導教員：教授 岩本武範（博士/工学）

発表者

- ・ 古林 泰河
- ・ 大石 柁輝
- ・ 正木 陽太



研究室の取組み

- ・ ウェルビーイング経営政策, 事業評価研究
- ・ ASOBI創出, 都市マーケティング など

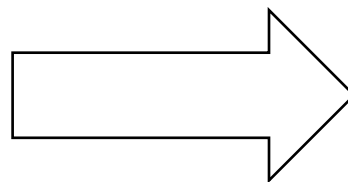
若者・女性が集まり、活躍できるまちづくり

制 度

インフラ

サービス

・
・
・



心の余裕

・
幸せの実感



エリア価値の
再評価を行う

5市2町の在住者



アンケート調査

GMO RESEARCH & AI

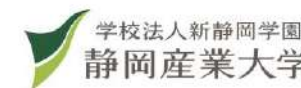
⇒ 1,175名

藤枝市のみならず、周辺住民も
どうしたら藤枝市に来訪するか
という視点を大切にした。

藤枝市の各エリアに対して
「心の余裕」や「幸せを育む」
ための新たな価値を創出

研究結果の前に

(参考) 若者が考える幸せの形



@しずおか中部”未来学”，藤枝市制施行70周年・サッカーのまち100周年記念事業（2024年度）



A large whiteboard covered with numerous colorful sticky notes (yellow, purple, pink) and diagrams, likely used for collaborative work or brainstorming during the lecture.

70 100
藤枝市
Fujieda City

令和6年度 6大学連携共同講座

しずおか中部“未来学”

人口減少社会における持続可能な地域づくり

主催：藤枝市大学ネットワーク会議・藤枝市

藤枝市制70周年・サッカーのまち100周年記念事業
『デジタル都市プランニングチャレンジ』



自分らしくいられる

居場所がある



安心して生きられる

単に便利な都市に住むことではなく、

関係性・自由・安心を土台に、自分らしく試行錯誤できること

【仮説】 幸せ経路の想定

心の余裕がなければ、どのような能力や経験がある人でも幸せを実感できない



若者や女性が集まり、
活躍を促すことができる
各エリアの役割を導出する

研究結果

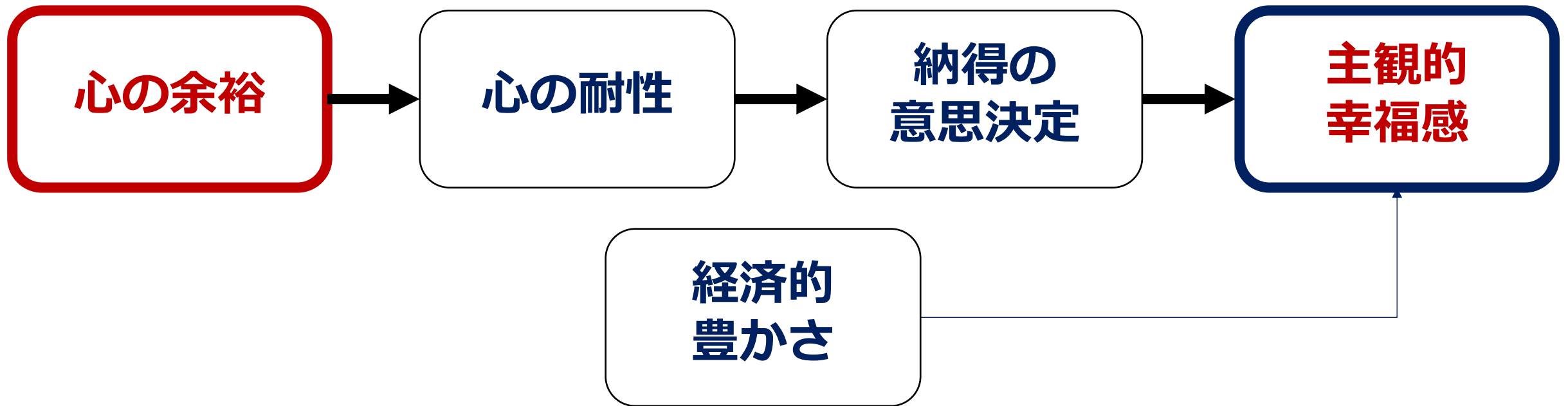
※アンケート調査方は、お手元に配布したものとなりますので、説明は割愛します

1. 幸せ経路の実証 (ARMモデル)

2. 各エリアの役割分析

【結果①】 幸せ経路の実証 (ARMモデル)

※心の余裕 = もともと持っている経験や力を、落ち着いて発揮できる心のスペース



心の余裕は、経済的豊かさの「3倍」も幸福感に影響する
(心の余裕を育む「都市デザイン」「環境設計」が重要)

【結果②】 各エリアの役割分析（選択肢）

各エリアの問い方

※5つのエリア（場所）を示し、次ページのように評価を促した



蓮華寺池公園



藤枝駅周辺
(BiViなども含む)



旧市街地
(商店街エリア)

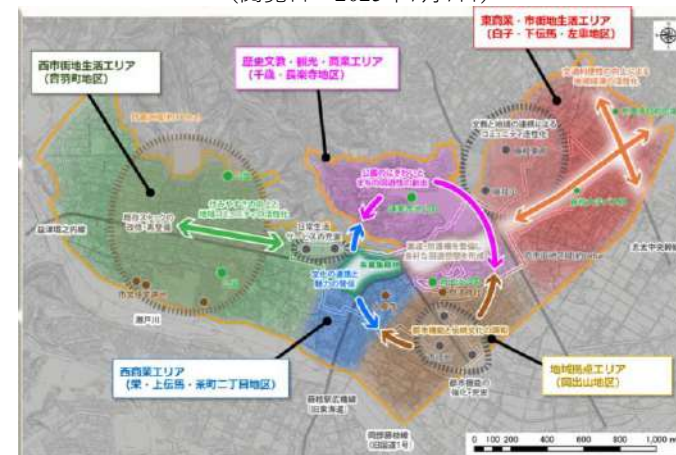


自宅



職場・学校

【抜粋】 <https://www.city.fujieda.shizuoka.jp/material/files/group/169/keikakugaiyou.pdf>
(閲覧日：2025年7月7日)



- ・今回は代表的な生活圏に集約した探索的設計であり、地区別の網羅調査ではない。
- ・とくに、旧市街地は「地図上で一点に確定した範囲」ではなく、「回答者がそう認識する歴史的な中心エリア」として認識することを想定した。

【結果②】 各エリアの役割分析 (集計方法)

クロス集計

回答者が「藤枝市内の以下の場所」にいるとき、どのような気分になりますか。
あてはまるものを全て選んでください。 という設問になっている。

藤枝市内の代表エリア

日常生活空間

	蓮華寺池公園	藤枝駅周辺	旧市街地	自宅	職場・学校
失敗しても大丈夫だと感じる (ホッとする・ 安心感)					
ワクワクしたり、心が躍る (楽しい・ 高揚感)					
落ち着いて自分を見つめ直せる (冷静・ 内省)					
何か新しいことをやってみたく なる (意欲 ・ 挑戦)					
特になにも感じない					

(a)～(d)は、**心の余裕を育む際に使用する質問群** (Iwamoto, 2025)。

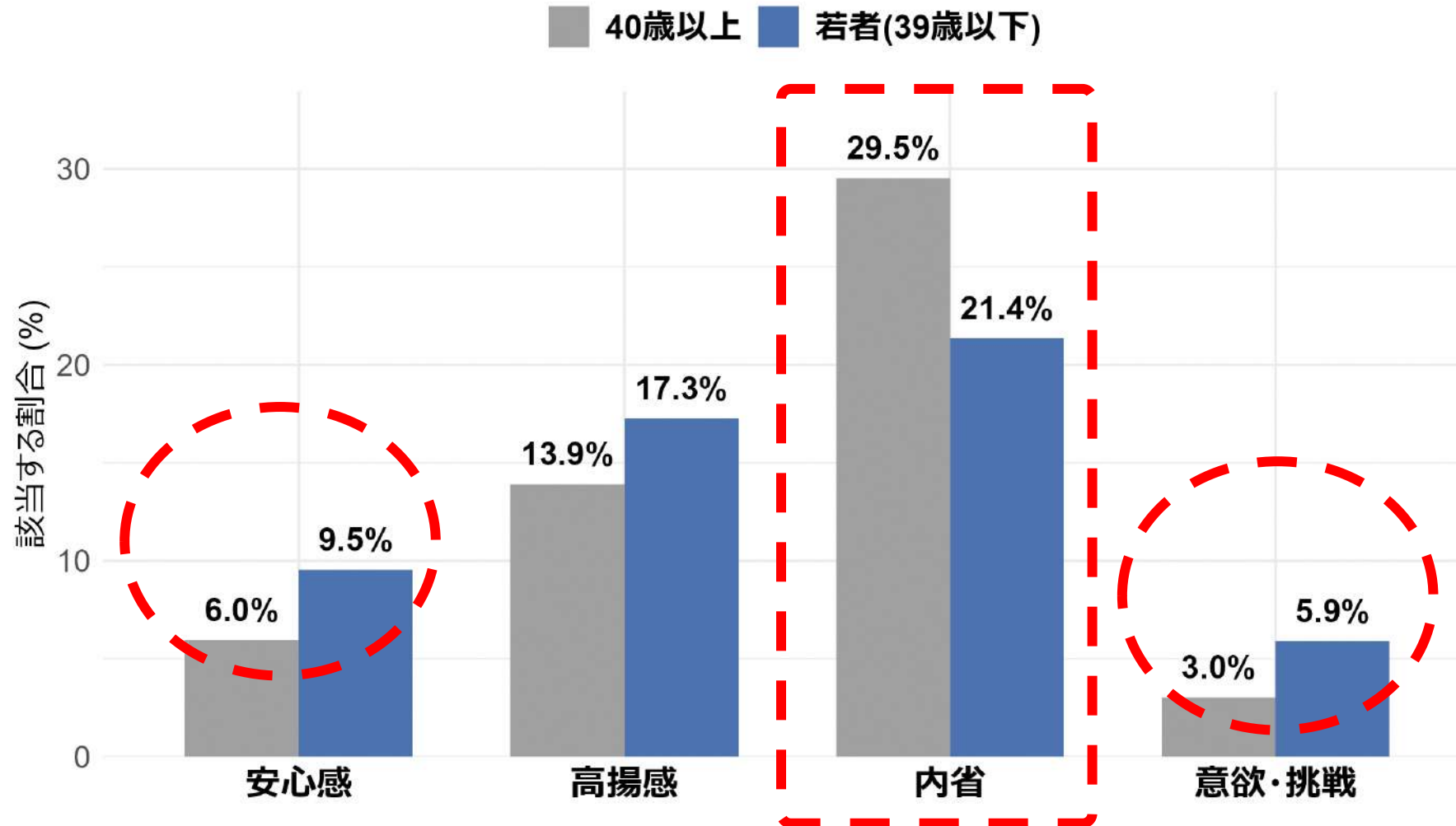
上記のマトリクスに、「○」が入るイメージで、集計し、全体・若者・女性のカテゴリで特徴を確認。

【結果②】 各エリアの役割分析（分析結果）

蓮華寺池公園

全体としては『回復型 Slack Field』の役割がある

若者にとって『安全基地型 Slack Field』の役割



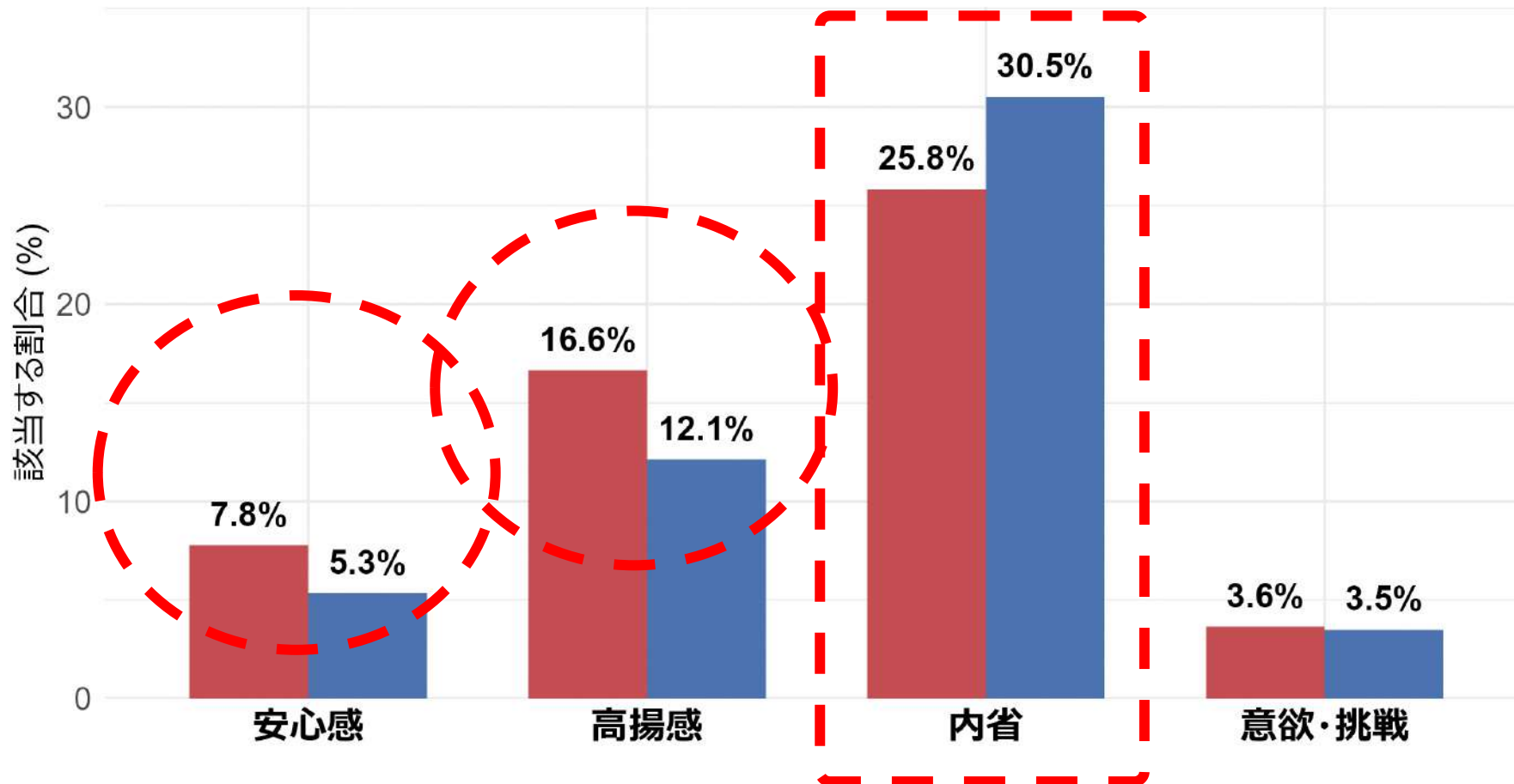
【結果②】 各エリアの役割分析 (分析結果)

蓮華寺池公園

全体としては『回復型 Slack Field』の役割

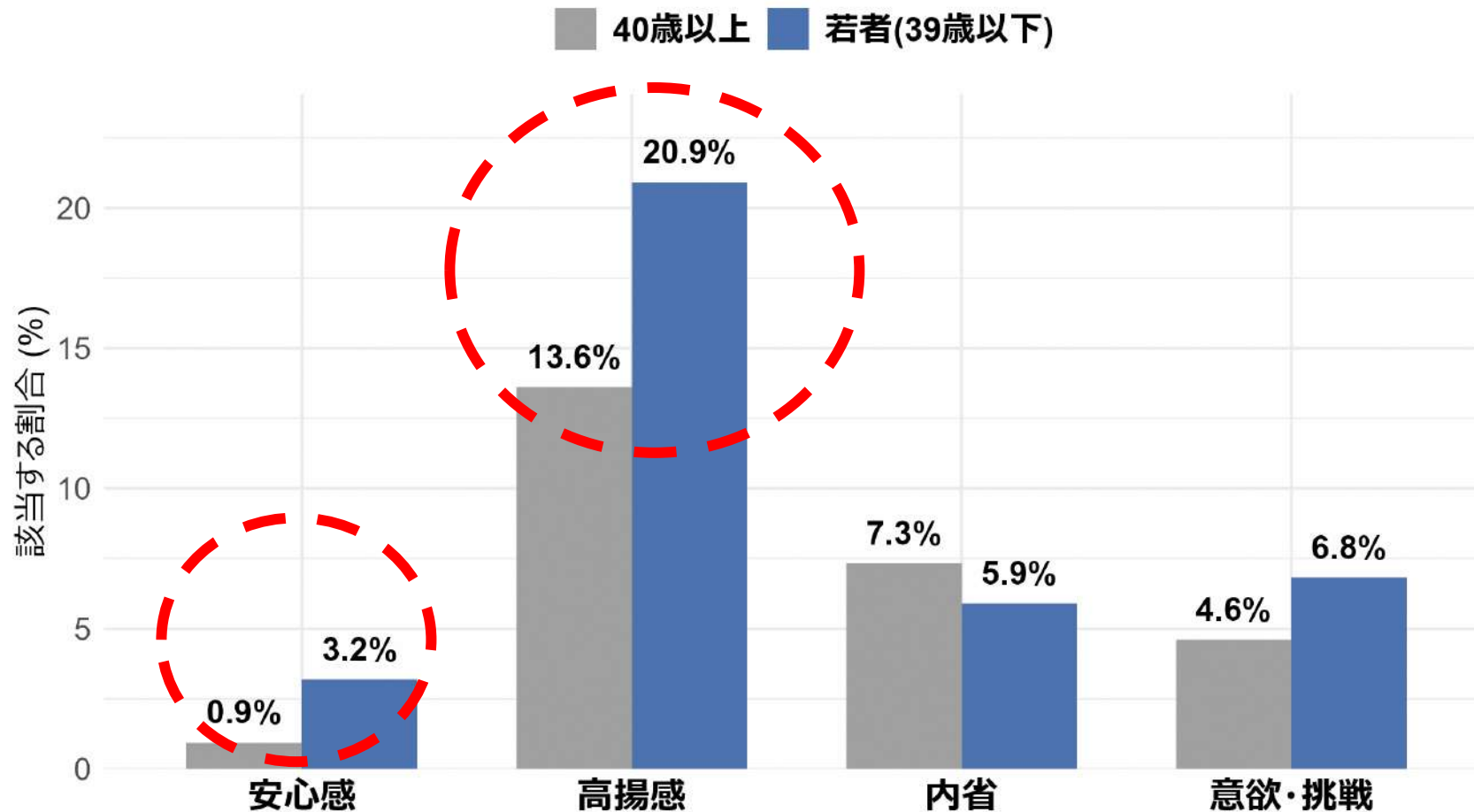
女性にとって『エネルギー充電型 Slack Field』の役割

■ 女性 ■ 男性



【結果②】 各エリアの役割分析 (分析結果)

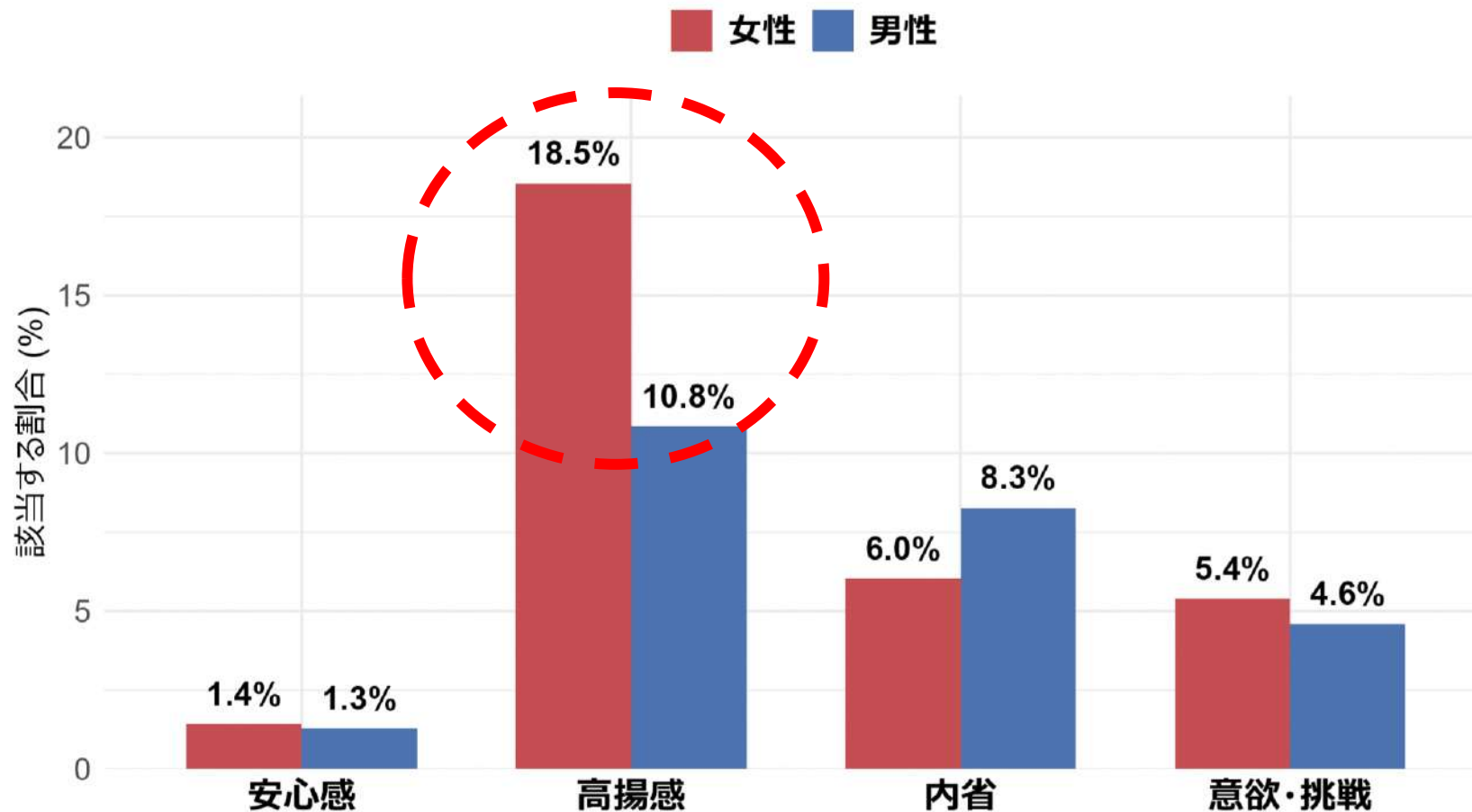
藤枝駅周辺 若者にとって『匿名サードプレイス型 Slack Field』の役割



【結果②】 各エリアの役割分析 (分析結果)

藤枝駅周辺

女性にとって『非日常エスケープ型 Slack Field』の役割

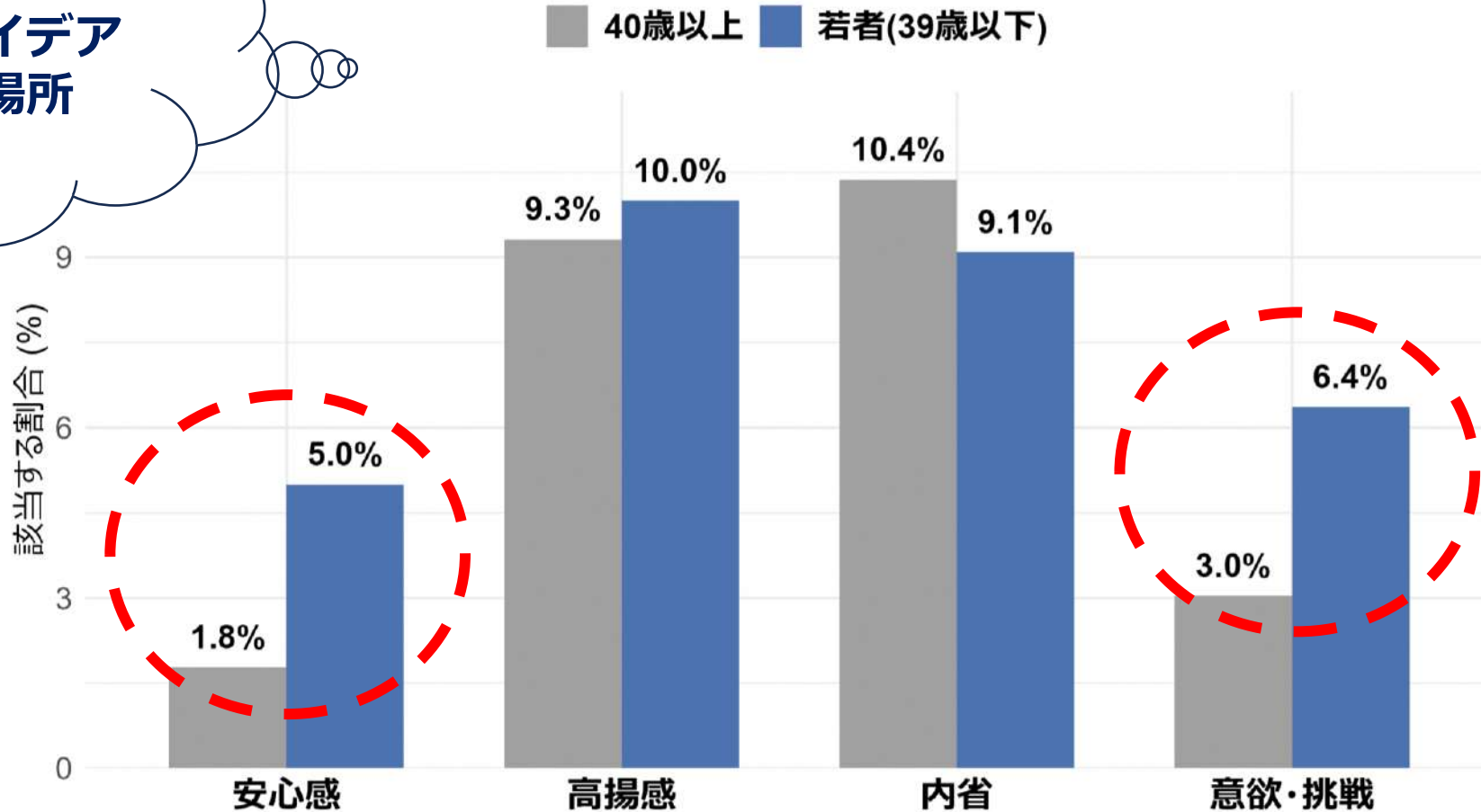


【結果②】 各エリアの役割分析 (分析結果)

旧市街地

若者にとって『余白キャンバス型 Slack Field』の役割

企画・アイデア
を試す場所

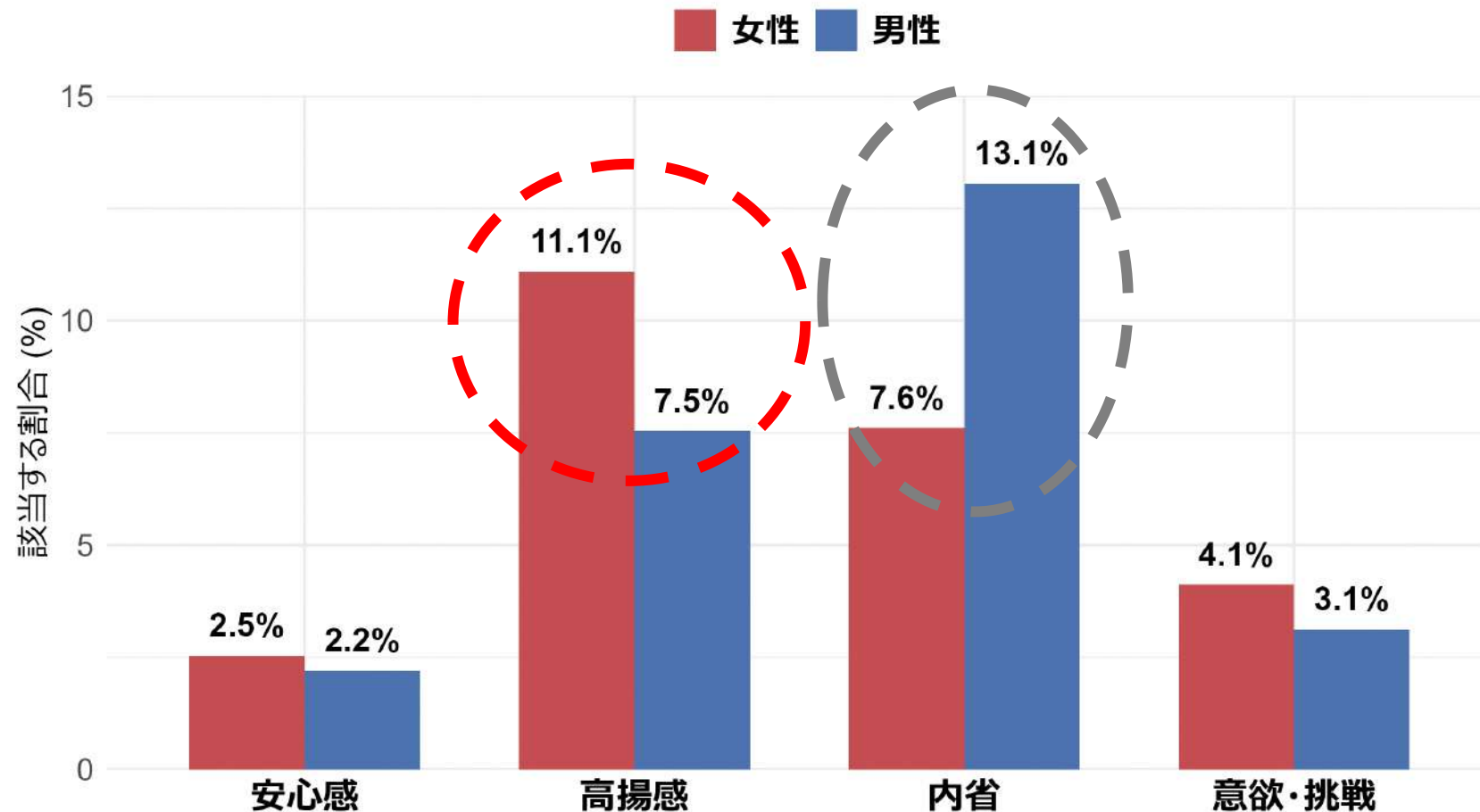


【結果②】 各エリアの役割分析 (分析結果)

旧市街地

女性にとって『温故知新型 Slack Field』の役割

男性にとって『ノスタルジー回帰型 Slack Field』の役割



【考察】各エリアの役割に応じた提案

【提案】 蓮華寺池公園のアクションプラン

戦略1：蓮華寺池公園を「若者の安全基地」と「女性の充電スポット」へ



「小さな挑戦」のハードルを下げる空間づくり

いきなり起業！ではなく、
若者や女性が週末だけ自分の趣味や特技を試せる
「1日店長カフェ」や「スモール・マルシェ」の枠を
公園内に拡張する。

「何もなくていい」余白のデザイン

イベントだけでなく、女性が一人で本を読んだり、
ただ景色を眺めて心をリセットできるような、
質の高いベンチや日陰のパーソナルスペースを設置してみる。
地元企業などとのコラボレーションも良いかと考えられる。



戦略2：藤枝駅周辺を「圧倒的なワクワクを消費するメインエンジン」へ



「非日常（ハレ）」に振り切った空間投資

駅周辺には「癒やし」ではなく「洗練された刺激」を。夜遅くまで若者が語り合える夜カフェや、女性が思わず写真を撮りたくなるようなデザイン性の高い商業テナントの誘致に特化する。

「孤独を楽しめる」匿名空間の整備

グループで騒ぐ場所だけでなく、若者や女性が「一人でいても絵になる、干渉されない適度な雑踏感（匿名サードプレイス）」を感じられるフリースペースやストリートファニチャーを駅前にデザインする。



【提案】旧市街地のアクションプラン

戦略3：「若者のキャンバス」と「女性のレトロ・テーマパーク」へ



若者×空き店舗の「マッチング・プラットフォーム」化

駅前では家賃が高くて挑戦できない**若者クリエイターや起業家**に、旧市街地の空き物件を「DIY可能なキャンバス」として格安で提供し、**スタートアップの特区**にする。

女性を呼び込む「レトロ・リノベーション」支援

若者がリノベーションした古民家カフェや雑貨店を点在させ、女性が「温故知新のワクワク」を感じながら街を回遊できる、歩きたくなるストリートデザイン（石畳風の舗装やレトロな街灯など）へ投資する。



今後の課題

- ・ 実現可能なプランへの変換
- ・ 藤枝市定住，来訪頻度向上策との連動
- ・ ウェルビーイング指標を設定し，本施策の有効性を検証
- ・ 総合計画に基づく，事業推進への提案 など

静岡産業大学 経営学部 博士（工学）

教授 岩本 武範

静岡県藤枝市駿河台4-1-1

E-mail : t-iwamoto@ssu.ac.jp

ご清聴ありがとうございました